

2025 年に北海道で発生した森林病害虫

内田葉子・和田尚之

はじめに

本報告では、2025 年に発生が確認された森林病害虫を紹介します。過去の虫害被害については、これまで「北方林業」や「森林保護」などの雑誌で 1971 年から 2013 年まで報告されていましたが、その後は報告が途絶えていたため、2024 年の発生情報から本誌にて報告することにいたしました。本報での発生情報は、林業試験場が確認したもののほか、北海道水産林務部森林海洋環境局成長産業課および北海道森林管理局保全課から寄せられた情報、林業試験場に直接連絡のあった情報を集約したものです。そのため、発生情報には地理的な偏りがあることにご留意ください。なお、森林病害虫の発生情報は本報のほか、北海道水産林務部林務局森林整備課が公開している「北海道森林保護事業実績」にもまとめられていますので、そちらも参考にしてください。

森林害虫の発生状況

2025 年に確認された主な森林害虫の発生状況を表－1 にまとめました。

表－1 2025 年の主な森林害虫発生状況

	被害樹種	被害発生地	確認時期	備考
マイマイガ	カラマツ (2年生植栽地)	芦別市, 苫前町, 当麻町, 旭川市	6月	
	カラマツ (2025年植栽地)	興部町, 西興部村, 標茶町, 浜中町	6～7月	
	カラマツ, 広葉樹	<u>上川北部・中部, 北空知, 中空知, 美瑛市, 留萌市,</u> 石狩市, 当別町, 小平町, <u>池田町, 浦幌町,</u> 豊頃町, <u>釧路市,</u> 標茶町, 苫小牧市	6～7月	
カシノナガキクイムシ (ナラ枯れ)	ナラ類	函館市, 北斗市, 松前町, 福島町, 知内町, 木古内町, 七飯町, 鹿部町, 森町, 八雲町, 上ノ国町	10月	被害本数 計1,637本
カシワマイマイ	ミズナラ	留萌市	6月	
	カシワ	<u>大樹町,</u> 広尾町	7月	
	ナラ類	美瑛市	7月	
クスサン	ウダイカンバ	<u>富良野市, 上川町, 遠軽町,</u> <u>苫前町</u>	7月	
キアシドクガ	ミズキ	<u>美瑛市,</u> 新篠津村, 白老町	5～6月	
クワゴマダラヒトリ	ヤマグワ	苫前町, 様似町, 豊頃町, 平取町, 日高町	9月	
ハンノキハムシ	ハンノキ類, カンバ類	<u>道南地域 (八雲町以南)</u>	7～9月	

激害（林内の大半が被害を受けた状態）がみられた市町村を太字・下線で示す。被害本数は速報値。

人工林で発生した害虫

2025 年は 2024 年よりもマイマイガによる被害が広域で発生しました（写真－1）。マイマイガは春から初夏にかけて様々な樹種を加害することが知られており、造林樹種ではカラマツを、広葉樹ではカンバ類やヤナギ類、ナラ類、サクラ類などを好んで食害します。2025 年は三笠市以北の空知地方や上川北部・中部、留萌南部、石狩北部、十勝東部～釧路市、苫小牧市など広い範囲で被害が確認されました。カラマツの被害では、2 年生植栽地（芦別市、苫前町、当麻町、旭川市）や 2025 年植栽地（興部町、西興部村、標茶町、浜中町）など若い苗木だけでなく、成長した林（池田町、沼田町、浦幌町）でも激害が確認されています。留萌市ではカラマツ林での激害を確認したほか、公園の広葉樹（カエデ類、ヤナギ類など）でも丸裸になった樹木を多数確認しました。他に、小平町、北竜町、新十津川町、沼田町、旭川市、釧路市でもカラマツ林や広葉樹が一部丸裸になっていました。美唄市にある林業試験場内では、バラ科を中心に様々な広葉樹や針葉樹（カラマツ、ハイマツなど）が食害されました。さらに、虫自体は確認していませんが、奈井江町、砂川市、滝川市、深川市の高速道路沿いのカラマツや広葉樹の葉の食害が確認されており、これらもマイマイガによる食害であると考えられます。



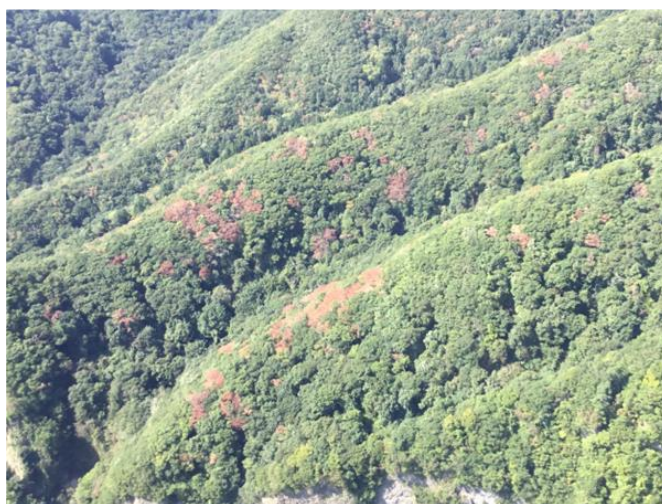
写真－1 マイマイガによる食害被害

左上: 2 年生カラマツ苗とマイマイガ幼虫（当麻町 6/24）、右上: シラカンバ被害木（美唄市 7/10）、
下: カラマツ激害木（留萌市 7/8）

天然林・都市域で発生した害虫

2025 年はナラ枯れの被害が拡大しました（写真－2）。ナラ枯れは、カシノナガキクイムシがナラ類やシイ・カシ類の幹に穿入し、その際に病原菌を持ち込むことで樹木が枯死する被害です。北海道ではミズナラなどが被害を受けやすく、被害木は 8 月頃から葉が褐変して枯れ、地際部にはキクイムシが排出したフラス（木屑と糞が混ざったもの）が堆積します。2025 年は新たに函館市などでも被害が発生し、道有林や一般民有林、国有林などで 11 市町 1,637 本の被害が確認されました（2025 年 10 月 17 日時点）。

2025 年はカシワマイマイの被害も目立ちました（写真－3）。カシワマイマイはマイマイガの近縁種で、カシワやミズナラなどの広葉樹を食べる昆虫です。留萌市の公園のミズナラが食害されていたほか、大樹町のカシワ林が丸裸になる被害が確認されました。なお、2025 年はマイマイガ



写真－2 ナラ枯れ被害

被害木は葉が赤茶色に変色している（福島町 9/16）

の発生数も多く、様々な報道機関によってマイマイ成虫の大発生映像が放送されていましたが、その中にはカシワマイマイの成虫も多数混ざっていました（釧路市など）。そのため、広葉樹でマイマイガ被害とまとめられている中に、実際はカシワマイマイによる被害も含まれている可能性があります。

クスサンも一部地域で大発生が報告されました（写真-4）。クスサンは大型の蛾で、ウダイカンバやクリ、トチノキなどを食害します。富良野市や上川町、遠軽町、苫前町などでウダイカンバの葉がほぼ全て食べられ、クスサンの幼虫が多数確認されました。幼虫による被害は報告されていませんが、クスサンの成虫については、北見市や上川北部（名寄市、美深町、音威子府村、中川町）の街中で大量に飛び交っているとの目撃情報が寄せられました。

キアシドクガによる食害が 2025 年も確認されました。キアシドクガはミズキの仲間の葉を食べる昆虫です。美唄市の林業試験場光珠内実験林や新篠津村の道路沿いにおいて、ミズキのほぼすべての葉が食べられていました。白老町でも町内ほぼ全域でミズキが被害に遭っているとの情報が寄せられました。また、奈井江町、砂川市、滝川市、深川市の高速道路沿いのミズキが丸裸となっており、キアシドクガと思われる成虫の飛翔を多数確認しました。2025 年はクワゴマダラヒトリの食害や幼虫の巣が各地で確認されました。クワゴマダラヒトリはクワやニセアカシア、サクラ類やナラ類など様々な広葉樹を食害する蛾で、越冬の際は樹木の根元に集団で糸を膜状に張って巣を作る特徴があります。苫前町や様似町、豊頃町、平取町、日高町でクワゴマダラヒトリの幼虫や巣が多数確認されました。



写真-3 カシワマイマイによる食害被害

左：カシワ被害木（大樹町 7/16）、右：カシワマイマイ幼虫



写真-4 クスサンによる食害

ウダイカンバの葉が食べられている（矢印）
（苫前町 7/8）



写真-5 ハンノキハムシによる食害被害

上：赤茶色の木は被害木（森町 9/10）、下：ハンノキハムシ幼虫（左）と成虫（右）

ハンノキハムシの被害も各地で確認されましたが、特に北斗市や木古内町、知内町、八雲町などの道南地域でハンノキ類やカンバ類の食害が目立ちました（写真－5）。例年ハンノキ類の食害は各地で見られますが、カンバ類が食害されるほどハンノキハムシが大発生するのは稀です。ハンノキハムシの大発生は稀に長期化することがあり、近年では、道東～道央を中心に 2008 年から 5 年以上続き、ハンノキ類やカンバ類が被害に遭いました。2026 年以降も道南地域でのハンノキハムシ被害が懸念されます。

そのほか、樹木への被害は確認されていませんが、5 月に室蘭市や登別市でドクガの幼虫が街中で大発生したとの情報が寄せられました。また、2025 年も函館市内でアメリカシロヒトリの幼虫が確認されました。

病害の発生状況

2025 年に確認された主な病害の発生状況を表－2 にまとめました。

表－2 2025 年の主な森林病害発生状況

	被害樹種	発生市町村	確認時期	備考
カラマツ先枯病	カラマツ	羽幌町	5月	2024年度の被害
		広尾町、八雲町	9月	
カラマツ落葉病	カラマツ	<u>北見市</u> 、豊頃町、広尾町、 八雲町	9～10月	

激害（林内の大半が被害を受けた状態）がみられた市町村を太字・下線で示す。

カラマツ先枯病についての林業相談が羽幌町から寄せられました。実際の罹病については前年の被害ですが、近くに植栽されているグイマツでは目立った被害は確認されず、カラマツ先枯病への感受性の高いカラマツのみで被害が確認されました。2025 年は広尾町、八雲町 2 年生カラマツ植栽地で軽微なカラマツ先枯病が確認されました。

カラマツ落葉病の激害が北見市の 11 年生カラマツ林で発生しました。カラマツ落葉病はカラマツ類の葉が早期落葉してしまう病気で、枯死することはないものの成長量の低下を引き起こします。当林分では去年も被害に遭っており、2025 年もほぼすべての葉が早期落葉しました。他に豊頃町や広尾町、八雲町の 2 年生カラマツ植栽地でも軽微なカラマツ落葉病が確認されました。

（保護種苗部保護グループ）